

# 10代のための本棚



てい〜んず情報誌 VOL.7

墨田区立図書館

2014年4月発行

<http://www.library.sumida.tokyo.jp/teensindex>

## 図書館物語 (第7話)

ここはとある中学校。

Tはかねてから、気になっていたSに話すキッカケをさがしていた。昼下がりの午後、TとSの会話・・・

T「2年前と同じシチュエーションだね!!」

T「ティーンズルーム、最近行った?少し変わったらしいよ」

S「えっ、知らないなあ〜どんな感じ?」

T「じゃ、今日一緒に行ってみようよ」

ということで、二人は3年生になっても相変わらず図書館デートはしているみたい。

T「このPOP、みんなの手描きだね♪ウマイな」

S「こっちのアンケートも面白いよ。ナニナニ?」

ティーンズルームに入ると“Teen's voice”と“おススメ本のPOP”が飾ってあった。

S「担当者のアンサー、ほんわかしてていいね! そうですね、勉強の運気が上がる図書館のウワサ知ってる?」

T「????」

S「先が尖っている物が見える場所って、上昇機運があるらしいよ」

T・S「アッ!ひきふね図書館とスカイツリーだあああ」

みんなは風水って信じる? 二人はゼツタイ・・・。

考えるとどういふことか 外山滋比古/著

集英社インターナショナル

マイペースでいこう!

心は前を向いている

申崎真志/著 岩波書店

「友だちいない」は“恥ずかしい”のか

武長脩行/著 平凡社

ひとせら

山志多みずる/著 大和書房

どうしたら、人生は楽しくなりますか? 林恭弘/著 総合法令出版

4月も半分が過ぎたけど、学校やクラス、先生には慣れたかな? もし、新しい学校生活で、とまどっていたり、落ち込んでいるんだしたら、ちょっと気分を変えて本を読んでみるのはいかがでしょうか。悩んでいることの解決のヒントがあったり、ちょっぴり元気になれる、もしかしたら少し癒(いや)されるかも。さあ、まずは、ページを開いてみようよ!

終点のあの子

柚木麻子/著 文藝春秋

HRなう!

市立第二中学校2年C組

椰月美智子/著 講談社

おーい!キソ会長

柴村仁/著 徳間書店

汚れつちまつた悲しみに……

中原中也/著 集英社

とぎすませ

62のソネット

谷川俊太郎/著 講談社

ココロ

月に吠える

萩原朔太郎/著 SDP



## 返信 Teen's Voice



情報誌によせられたみなさんの声にお応えします!

動物系の感動する話を読みたい。



『そしてベルナは星になった』『川の光』がおすすめです。

私は宮城県出身で、3.11も宮城に居たので、本などとおして少しでも震災のことをわかってほしいと思います。

『僕たちが見つけた道標』『高校生、災害と向き合う』『ワタノハスマイル』寄り添う心、忘れないでほしいです。

勉強が苦手なので歴史などが、わかりやすく、楽しく覚えられ本が読みたいです。



『つぶやき戦国武将天下統一なう』『覚えておきたい総理の顔』『地図で読むビジュアル日本史』イラスト・写真が満載です!

スヌーピーが好きなので図書館においてほしいです!!

『スヌーピー全集』『スヌーピーたちの人生案内』『悩んだときに元気が出るスヌーピー』もあります!



### 「弱くても勝てます」開成高校野球部のセオリー

高橋秀実/著 新潮社(新潮文庫) 2014

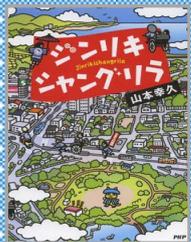
超進学校開成高校には超弱小野球部があった。『エラーは開成の伝統』『内野は球が怖いから外野ポジション希望』・・・笑える位野球スキルに劣る彼らが、常識をくつがえす『弱者の兵法』のもと、甲子園予選を勝ち抜いていく！監督と選手へのインタビューで構成されたノンフィクション。今春、嵐の二宮君主演でTVドラマ化されます！



### ハダカデバネズミ — 女王・兵隊・ふとん係

吉田重人・岡ノ谷一夫/著 岩波書店 2008

一目見たら忘れられないキモカワイイその姿を武器に、グッズも絶賛発売中、いちやく動物園のアイドルにのしかかろうとしている珍獣、その名は『ハダカデバネズミ』！地中に群れて暮らし、アリそっくりの階級社会を営む彼らの驚異の生態を解明すべく、デバネズミ飼育に日夜奮闘するチームの研究成果はいかに・・・？



### ジンリキジャングリラ

山本幸久/著 PHP研究所 2014

入部3日で野球部を退部になった雄大。スーパーで突然、「人力車部、はいつてくれない？」と先輩に誘われ始めたフカツ生活。小さな町を颯爽(さっそう)と走る人力車部の春から夏を描いた作品です。同期で計画した東京弾丸ツアーではあの東京名所も出てきます。



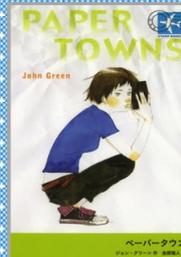
### 坂茂の家の作り方

建築のノーベル賞といわれるプリツカー賞を受賞した建築家の作品が紹介されています。心地がよく美しい「家のかたち」を目指しています。東日本大震災の避難所では紙の間仕切りシステムを利用して安心できる居場所を作りました。



### 弁当男子 池田将友/著 PHP研究所 2013

大地の昼食は学校屋上で食べるコンビニの一人飯。みかねたおせっかい美術教師が作る男子弁当は、茶色弁当！？弁当の感想を通じて二人の距離は近づくことに。ラストでは思わずほろりとさせられる高校生の揺れ動く心を描いた作品です。



### ペーパータウン ジョン・グリーン/作 金原瑞人/訳

岩波書店 2013

学校のアイドル的存在、マーゴに恋している平凡で真面目な高校生のクエンティン。卒業間近のある夜、突然姿を消した奔放なマーゴを探す旅が始まる。マーゴの意外な面を発見していく中で、わかりあうことの難しさや、色々な視点で考えることの大切さを感じられる一冊です。



### パッチワークのガーリーバッグ New Girly Bag Collection

パッチワーク通信社 2014

女子にぴったり！カワイイ手作りのバッグ・・・ガーリー&ポップなバッグとポーチの作り方を紹介。今年は手芸女子を目指して世界でたった一つのオリジナルを作ってみませんか？(最近では手芸男子もいるとか?)



### 学年ピリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話

坪田信貴/著 KADOKAWA 2013

偏差値30から慶應合格の金髪ギャルさやかちゃん。坪田先生に出会ってから生活が一変！「やるきスイッチ」が入って・・・ちなみに、表紙はさやかちゃんではなくモデルさんだそうです。



## NEW おもてなし課 オススメ本

おもてなし課は毎月第3土曜日に、ひきふね図書館で活動中の中学生のグループ。今号から、同世代の声を発信していきます。今回トップバッターとして、3月におもてなし課を卒業した高校1年生がオススメ本を紹介します。気になる本があったら、図書館でチェックしてみてね。



### スイッチを押すとき 山田悠介/著 文芸社

たった1つのスイッチを押すだけで人生が終わる——青少年の深層心理の研究のために国の実験対象にされた4人の子どもたち。1人1つスイッチが渡され、それを押すだけで命が絶えてしまうことが告げられる。地獄同然の日々を送りながらもスイッチを押さない彼らには、それぞれ胸にかかえた複雑な想いがあった…。命の尊さ、家族の大切さを改めて考えさせられる1冊。(まりも)



### キケン 有川浩/著 新潮社

この本は西南電気工科大学機械制御研究部、略称「キケン」の部員たちの黄金時代を描いた青春物語です。男子ならではのハチャメチャな行動は読んでいて爽快感があり、男子はもちろん、女子にも読んでほしいです。また、この物語はコメディタッチで描かれており、にやにやとわらいながら読むところもありますが、最後の場面には感動させられました。ぜひ読んでみてください！(やなさん)



### カナクのキセキ 上総朋大/著 富士見書房

「魔女」と聞くと必ずしも良い印象はないと思います。私の紹介する本にも魔女は出てきます。しかし、最初は人々から蔑まれていますが、魔法を受けた尊き女性となり、千年後には人々から尊敬されています。これはその魔女・マールが遺した石碑を巡る少年と少女の話です。敬虔なマール信徒・カナクと彼に想いを寄せる王国の娘ユーリエとの恋を描きながら、紅の魔女マールの秘密が明らかになっていく、魔法の物語です。最後には衝撃の結末が…全5巻の第1巻です。(魔法の使いになりたい男)

